

参考様式（様式第2号別紙）

事業継続（計画・実績）書

事業継続の方法	
財源確保 （具体的に記載）	(1) 負担金（共催団体等から） (2) 寄附金・協賛金 (3) 参加料 (4) その他
地域連携等 （具体的に記載）	(1) 団体等の協力 (2) 物資の提供 (3) 会場の提供 (4) その他
その他	

記載例

事業継続（計画・実績）書

<p>事業継続の方法</p>	<p>3年目までは市補助金を活用し、並行して協賛企業の開拓や募金箱の活用、地域のボランティア参加を募ることにより、事業実施を継続する。等</p>
<p>財源確保 （具体的に記載）</p>	<p>（1）負担金（共催団体等から） ○○イベントを共同開催する××財団法人が事業費の3割を負担金として支出する。</p> <p>（2）寄附金・協賛金 ○○○クラブ等に事業報告書を活用して協賛依頼する。事業を周知するパネルを作成し、商業施設●●に募金箱と共に設置して寄付を募る。</p> <p>（3）参加料 ○○イベント開催の際に、子どもは無料参加とするが大人（18歳以上）については実費分の参加料を設定する。</p> <p>（4）その他 不足分については、当団体構成員の自己負担金又は繰越金等の内部留保により対応する。</p>
<p>地域連携等 （具体的に記載）</p>	<p>（1）団体等の協力 昨年度より連携している○○運営協議会にボランティアの参加を呼びかける。</p> <p>（2）物資の提供 市内の○○店等に対してイベントで使用する××の無償提供を呼びかける。</p> <p>（3）会場の提供 ○○イベントの会場については連携している○○地域の施設を活用していく。</p> <p>（4）その他 会場の近くの○○学校の生徒・教師と協力して、イベントの企画立案を行う。</p>
<p>その他</p>	<p>補助金の採択がされた際には、岩見沢市後援の事業であることを活用して効果的に周知を図る。 イベント開催のイメージ図は別紙のとおり。</p>